

も筆もなかつたので、野良着姿のらぎすがたでまわりの子供達と遊びくらすようになりました。

山奥で栗や柿などをとつてきては、面川村に出て、「湯殿山供養塔」ゆどのさんくようとうときざまれた石碑の前にむしろを敷いて、これを壳つたりしました。この石碑は今も道路わきに残されており、「柴大将柿売りの碑」の記念碑が立てられています。

下北の国へ

会津軍は約一ヶ月城にこもつて戦いま

「五十どせのむかしのままに残りけり  
柿の実うりし道のいし」

